



**廃校施設の利活用に  
関する市の考え方は**  
橋本 洋一（久比岐野）



**問**／廃校した学校施設の利活用に  
関する市の考え方は。

**答**／廃校施設の利活用については、  
建築基準法や消防法など法令の制  
限を受けることが多く、多額の改  
修費用を必要とする。今後、教育  
目的以外の利活用も検討する必要  
があると認識しており、市長部局  
と連携しながら取組を進めていく。

**問**／地元から存続要望の強い温浴施設をはじめ、  
公の施設の適正配置についての考え方は。

**答**／公の施設の適正配置の推進に当たっては、  
社会情勢の変化や地域の実情を踏まえて、その  
都度、地域の皆さんと合意形成を図りながら進  
めているところである。今年度、施設を廃止し  
て民間へ譲渡する予定にしていた施設について、  
コロナ禍の影響や地域・利用者の意見を踏まえて、  
当面3年間、指定管理を継続することとし、「引  
き続き協議」としている日  
帰り・温浴施設についても、  
コロナ禍の影響を踏まえ、  
指定管理の更新を行い、今  
後、利用実態や収支状況な  
どの現状を改めて示した上  
で、地域や利用者の皆さん  
と協議していく。



**UPZ自治体は事前了解  
権を有する協定を！**  
牧田 正樹（政新クラブ）



**問**／柏崎刈羽原発について、当市を含むUPZ  
圏内の7市町が、「事前了解権」を有する安全  
協定の締結が必要と考える。市長の見解は。

**答**／福島第一原発のUPZ圏内においても、事  
故によって家に住めなくなった人が大勢いるな  
ど、柏崎刈羽原子力発電所を監視できる仕組み  
が必要である。当市としては、「事前了解権」  
を有する安全協定の提携は必要であると考える。  
**問**／他の6市町に締結を働きかける考えは。  
**答**／7市町が一致していく必要があり、私が協  
力できるところはやっていきたい。

**市長の基本政策・人事改革の進め方は**

**問**／人事改革は、どのように進めるのか。

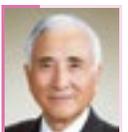
**答**／「人事改革プロジェクト」では、行政組織  
の在り方をはじめ、人事や異動の期間などを職  
員と議論しながら、丁寧に検討を進めていく。

**問**／人事異動のサイクルは、現行より長い方が、  
市民との信頼関係の中で働けると思うがどうか。

**答**／専門性を高めていけば市民の幸福にもつな  
がっていくと考える。

**問**／年間延べ300人程度が過労死ラインを超  
えている超過勤務の改善が必要ではないか。

**答**／職員が家族との時間をもち、生き生きと生  
活しながら、精神的に余裕がある中で物事を考  
えられる職場を作りたい。



**当市の魅力を広めるために**  
江口 修一（久比岐野）



**問**／ふるさと納税の取組目標を聞きたい。

**答**／当市の米や酒などの農林水産物や、その加  
工品、メイド・イン上越認証品を返礼品に加え  
ることにより、事業者の経営力の強化や市全体  
の産業振興につなげていきたい。

**問**／「通年観光」の中で、  
「楽しめるまち直江津」  
として「鉄道博物館」を  
作るのか。

**答**／「うみがたり」や無  
印良品、夕日が見られる  
日本海などの直江津のま  
ち全体を「面」として捉  
え、楽しめる地域にする  
ための取組として鉄道博物館を整備したい。



**地方自治体DXの推進で市民の利便性向上を**

**問**／次期財政計画はいつ頃までに策定するのか。

**答**／令和5年2月を目途に策定作業を進める。

**問**／地方自治体DXのあるべき姿の実現に向け  
て「デジタル市役所の推進」を考えているか。

**答**／業務プロセスの見直しとICTの積極的導  
入による「内部事務の効率化・省力化」を掲げ  
て、具体的な検討を進めている。ICTの導入  
が市民の利便性の向上につながるよう、引き続  
き、取り組んでいく。